

五色沼の青色 新鉱物か

磐梯朝日遷移プロジェクト 研究成果を報告



研究成果を発表した報告会

福島大の
教授らでつ
くる磐梯朝
日遷移プロ
ジェクトは
十三日、猪
苗代町体験
交流館で研
究成果報告
会を開い
た。高員慶
隆准教授は
裏磐梯の五
色沼沼群
で見られる

青色の要因について、
従来考えられていた鉱
物のアロフェンによる
色彩ではなく、新たな
鉱物が影響している可
能性が高いと発表し
た。

高員氏は湖沼に含ま
れる微粒子を採取、分
析した。微粒子はアロ
フェンと同様にケイ
酸アルミニウムの性質
を持つが形状が異な
った。円筒状の形は
鉱物のイモゴライト
と同じだったが、大き
さが異なり新たな鉱
物である可能性を指摘
した。

報告会は福島大共生
システム理工学研究科
の主催、町の後援。
本県など三県にまた
がる磐梯朝日国立公園
の自然環境や生物多
様性を守り、全国の自
然保護に活用できる
研究モデルの構築を
目指した。延べ十六
人の研究者が登壇し、
町民ら約百四十人が聴
講した。

長橋良隆教授は猪苗
代湖の湖底から採取し
た堆積物の分析から、
湖が約五万年前に形成
されたとみられると説
明した。